

いわみざわ 市議会だより



新1年生初登校！
中央小学校の入学式の様子です



第1回定例会本会議の様子です

市民との意見交換会

開催日：平成30年5月15日(火)
開 会：午後6時
会 場：・日の出コミュニティセンター
・南コミュニティセンター
・緑が丘連合会館
・北盛会館

※詳細は、10ページに記載しております

今号の主な内容

- 平成30年度予算などを審議
(第1回定例会審議結果)・・・2
- 各会派の代表が市長、教育長に質問
(代表質問)・・・4
- 1人の議員が市政について質問
(一般質問)・・・8
- 市長に新庁舎整備に関する要望書
を提出・・・9
- 意見交換会開催日時決定・・・10

平成30年第1回定例会（3月5日▶3月27日）

審議結果

| 議案番号 | 件名 | 審議結果 |
|--------|---|------|
| 議案第2号 | 岩見沢市手話言語条例の設定について | 原案可決 |
| 議案第3号 | 岩見沢市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の設定について | 〃 |
| 議案第4号 | 介護保険法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について | 〃 |
| 議案第5号 | 岩見沢市一般職の職員の退職手当支給に関する条例等の一部改正について | 〃 |
| 議案第6号 | 岩見沢市長寿祝金条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第7号 | 岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第8号 | 岩見沢市介護保険条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第9号 | 岩見沢市地区集会所条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第10号 | 岩見沢市北村ゲートボール場条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第11号 | 岩見沢市後期高齢者医療に関する条例及び岩見沢市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第12号 | 市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第13号 | 岩見沢市都市公園条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第14号 | 岩見沢市立高等看護学院条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第15号 | 岩見沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について | 〃 |
| 議案第16号 | 岩見沢市身体障害者年金条例の廃止について | 〃 |
| 議案第17号 | 岩見沢市清掃施設設置条例の廃止について | 〃 |
| 議案第18号 | 岩見沢市栗沢市民センター条例及び岩見沢市栗沢福祉会館条例の廃止について | 〃 |
| 議案第19号 | 豊正地区自治会館等の指定管理者の指定について | 〃 |
| 議案第20号 | 平成30年度岩見沢市一般会計予算について | 〃 |
| 議案第21号 | 平成30年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について | 〃 |
| 議案第22号 | 平成30年度岩見沢市特別会計公共用地等造成費予算について | 〃 |
| 議案第23号 | 平成30年度岩見沢市特別会計公設卸売市場費予算について | 〃 |
| 議案第24号 | 平成30年度岩見沢市特別会計高等学校費予算について | 〃 |
| 議案第25号 | 平成30年度岩見沢市特別会計企業用地造成費予算について | 〃 |
| 議案第26号 | 平成30年度岩見沢市特別会計農業集落排水事業費予算について | 〃 |
| 議案第27号 | 平成30年度岩見沢市特別会計介護保険費予算について | 〃 |
| 議案第28号 | 平成30年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について | 〃 |
| 議案第29号 | 平成30年度岩見沢市病院事業会計予算について | 〃 |
| 議案第30号 | 平成30年度岩見沢市水道事業会計予算について | 〃 |
| 議案第31号 | 平成30年度岩見沢市下水道事業会計予算について | 〃 |
| 議案第32号 | 一般職員の給与に関する条例等の一部改正について | 〃 |
| 議案第33号 | 平成29年度岩見沢市一般会計補正予算について（第6号） | 〃 |
| 議案第34号 | 平成29年度岩見沢市特別会計国民健康保険費補正予算について（第3号） | 〃 |
| 議案第35号 | 平成29年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について（第1号） | 〃 |
| 議案第36号 | 平成29年度岩見沢市特別会計農業集落排水事業費補正予算について（第1号） | 〃 |
| 議案第37号 | 平成29年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について（第3号） | 〃 |

| 議案番号 | 件名 | 審議結果 |
|---------|---|---------|
| 議案第38号 | 平成29年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費補正予算について(第1号) | 原案可決 |
| 議案第39号 | 平成29年度岩見沢市病院事業会計補正予算について(第1号) | 〃 |
| 議案第40号 | 平成29年度岩見沢市下水道事業会計補正予算について(第2号) | 〃 |
| 議案第41号 | 副市長の選任について【若山 浩氏】 | 同意 |
| 議案第42号 | 教育委員会の委員の任命について【秋山 信也氏】 | 〃 |
| 議案第43号 | 公平委員会の委員の選任について【九津見 千佳子氏】 | 〃 |
| 議案第44号 | 公平委員会の委員の選任について【奥野 昇氏】 | 〃 |
| 議案第45号 | 固定資産評価審査委員会の委員の選任について【平野 孝吉氏】 | 〃 |
| 議案第46号 | 固定資産評価審査委員会の委員の選任について【金山 英昭氏】 | 〃 |
| 議案第47号 | 固定資産評価審査委員会の委員の選任について【西屋 勝氏】 | 〃 |
| 意見書案第1号 | 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定について | 原案可決 |
| 意見書案第2号 | 所有者不明の土地利用について | 〃 |
| 意見書案第3号 | バリアフリー法の改正及びその円滑な施行について | 〃 |
| 意見書案第4号 | 生活困窮者・高齢者の居住の安定と防災対策の強化について | 〃 |
| 決議案第1号 | 閉会中の所管事務調査について | 〃 |
| 請願第1号 | 高齢者バス無料乗車券・身体障害者年金・長寿祝金の継続について | 閉会中継続審査 |

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

各議員の議案に対する賛否の状況（賛否の分かれたもの）

| 議案名 | 議員名 | 市民クラブ | | | | | | | | | | 政和会 | | | | 共産 | 公明 | 無 | | | | | |
|---------------------------------------|-----|-------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|---|
| | | 大坂龍起 | 豊岡義博 | 峯泰教 | 伊澤幸信 | 井幡修一 | 太田博之 | 篠原藤雄 | 平野義文 | 増山宣之 | 谷口洋一 | 野尻清 | 石黒武美 | 笹島清一 | 榎館竜哉 | 古石英仁 | 大和勝 | 上田久司 | 山田靖廣 | 酒井和子 | 齊須正友 | 池島和行 | |
| 議5) 岩見沢市一般職の職員の退職手当支給に関する条例等の一部改正について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議6) 岩見沢市長寿祝金条例の一部改正について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議7) 岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議8) 岩見沢市介護保険条例の一部改正について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議14) 岩見沢市立高等看護学院条例の一部改正について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議15) 岩見沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議16) 岩見沢市身体障害者年金条例の廃止について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議20) 平成30年度岩見沢市一般会計予算について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議21) 平成30年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議27) 平成30年度岩見沢市特別会計介護保険費予算について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議29) 平成30年度岩見沢市病院事業会計予算について | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

・表決（賛成＝○ 反対＝×） ・会派名（共産＝日本共産党議員団 公明＝公明党 無＝無所属）

第1回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 「平成30年度税制改正に関する要望」について
- 「小規模企業支援の充実に向けた要望」について
- 平成30年度税制改正に関する提言について
- 日本国憲法の尊重・擁護に関する要請について





市民クラブ
峯 泰 教

**市民の安全・安心な暮らしを守り、
強靱で美しいまちづくりについて**

問 桂沢水道企業団構成三市の水道事業統合に対する市長の見解と今後の進め方について

答 桂沢浄水場更新の検討に当たり、桂沢水道企業団と岩見沢市、美唄市、三笠市の水道事業が統合することにより、国庫補助金の補助率が上乘せとなるため、事業統合に向けた検討を平成23年度から進めてきた。
しかし、検討を重ねる中で、構成三市の水道事業の財政・資産と負債の状況等の格差が課題となり、早期の事業統合は難しいため、浄水場の更新事業を先行して進め、事業統合は先延ばしにすることなどが桂沢水道企業団理事者会議において確認された。
その後も事業統合に向けた検討を進めてきたが、格差の是正が

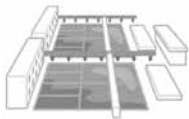
一番の問題であるため、まず構成三市が事業統合できる環境の早期確立に向け、それぞれが健全経営に努めていくことで合意がなされた。

多くの自治体で料金収益の低下や施設の老朽化、深刻化する人材不足などが課題となっているため、国では水道事業の広域化、資産管理の適切化、官民連携の推進などによる課題解決を目的とし、水道法改正の方向性が示されている。

持続可能な水道事業の運営には広域化という手段は有効と思われるが、事業統合が原因で岩見沢市の水道料金が値上げされることは絶対避けなければならぬため、三市が事業統合できる環境については慎重な判断が必要と考える。

今後法改正に伴い必要となる水道施設台帳について三市の※フオーマットを共通させるなど、できることから進める方向で検討したいと考えており、既に法改正を見据え準備している。

※フオーマット
仕様



市民が健康で幸福を実感できるまちづくりについて

問 新市立総合病院建設に向けての考え方とタイムスケジュールについて

答 今後も市立総合病院は、基幹的地域センター病院として、他の医療機関等と連携しながら、この地域において、市立総合病院が目指すべき医療提供体制の実現に向けさまざまな施策を推進したいと考えているが、築34年を経過した現施設では、高度化、多様化する地域の医療ニーズを踏まえ、より良質な医療提供の実現に課題もあるため、新病院の建設を検討することとした。

平成30年度は、地域の受診動向などの外部環境分析や他の先進的病院への調査などを行うとともに、基本構想の策定に着手し、将来の医療提供体制や地域の人口の推移を見据えた必要病床数等の検討を踏まえた部門計画等の積み上げを行った上で、北海道が策定した地域医療構想との整合性も踏まえて、良質かつ適切な医療が効率的に提供される体制が確保されるよう新病院の適正な事業内容、財源、適地の選定、

スケジュール等多角的に検討、協議を始めたいと考えている。



市立総合病院

【その他の質問】

- ・総合計画について
- ・地域産業・経済が元気なまちづくりについて
- ・市役所改革について
- ・教育行政について



政和会
石黒武美

**市民の安全・安心な暮らしを守り、
強靱で美しいまちづくりについて**

問 道路台帳図のデジタル化をどのように進めるのか

答 国土技術政策総合研究所等との連携のもと、将来的な国道・道道との連携を見据えながら、国の統一規格である「道路基盤地図情報」に基づく基礎データ整備を進めている。

問 全ての未除雪路線での活用はいつ実現できるのか

答 平成30年度末までに道路の中心や幅員、道路上の工作物等の正確な位置情報データ整備を完了させ、総合戦略で掲げた目標年度である平成31年度中には、未除雪路線全線での活用を図りたいと考えている。

問 除排雪作業に応用できる先進技術が、除排雪のさまざまな課題や懸念に対し、どのような効果をもたらすし、どのような期待を持たれているか

答 この冬、ネクスコ東日本北海道支社では、準天頂衛星「みちびき」を活用した除雪車運転支援システムをロータリ除雪車1台に試験導入し検証を開始している。

強い降雪などで視界が悪い場合でも、車両の位置や角度が高い精度で把握できるため、安全面や作業の効率化の向上、さらには通行どめ期間の短縮にもつながる機能として期待されており、平成30年度には除雪車50台への導入が予定され、2025年までには完全自動化を目指すとのこと。

これらの先進技術は、オペレーターの負担軽減や作業時間の短縮効果など除排雪作業全般はもとより、災害時等にも大きな効果が期待できることから、今後の技術開発の動向に注視するとともに、市内除排雪路線全線での実用化に向けた調査・研究を進めたいと考えている。

**地域産業・経済が元気
なまちづくりについて**

問 農業基盤整備における国営緊急農地再編整備事業の概要と現在の進捗状況について

答 事業の具体的な概要について、現時点での計画では「北村地区」は受益面積は140ヘクタール、受益戸数は95戸、概算事業費は330億円で、「大願地区」は受益面積は150ヘクタール、受益戸数は89戸、概算事業費は230億円となっている。

工事期間は、いずれも15年を予定しており、主な内容は現在の1枚0・3〜0・5ヘクタールの圃場を1枚2・4ヘクタールに大区画化するとともに排水条件を改善し田畑輪換による空知型輪作を促進する地下かんがいシステムの整備、用水路のパイプライン化などの工事を行う。

進捗状況について、「北村地区」は平成28年度から、「大願地区」は平成29年度から地区調査が行われており、現在ボーリングによる地質調査や対象農家の工事・営農などの各計画調査が進められている。

問 当該事業に対する市長の考えについて

答 「北村地区」及び「大願地区」で実施するこの大規模事業は、圃場の大区画化や排水不良の解消とともに農地の集積・集団化により、農作業の効率化・低コスト化、生産性の高い農業基盤の確保、水稲畑作経営に野菜作を導入した収益力の向上など農業所得の向上や農業経営の安定に高い効果が得られると考えている。

また、ICT基盤を活用したスマート農業を組み合わせることで、農作業の超省力化や農作物の高位平準化など、さらにその効果は高まるものと期待している。



【その他の質問】

- ・平成30年度予算について
- ・総合計画と地方創生について
- ・市民が健康で幸福を実感できるまちづくりについて
- ・子ども・子育て支援の推進について



日本共産党議員団
山田 靖 廣

市民が健康で幸福を実感できるまちづくりについて

問 福祉3事業（高齢者バス・無料乗車券・身体障害者年金・長寿祝金）の検証について

答 福祉施策の検討については、健康と福祉を高める市民会議からの提言と、岩見沢市福祉施策検討委員会から、答申をいただいた。答申の中では、制度が創設された当時とは環境や背景が大きく変わっているため、そういった観点も踏まえた議論をいただき、今後においても継続的な検証を求められた。

答申の内容を最大限に尊重し、それぞれの事業について、必要性、効率性、有効性などを検証するとともに見直しの時期を見きわめながら検討を進めてきた。



問 廃止等の経緯について

答 福祉施策検討委員会からの答申を受け、高齢者バス無料乗車券については、利用率の減少、居住地区の違いによる異なる制度に対する不公平感などを踏まえ、福祉サービスの持続可能性の観点から廃止の結論に至った。

身体障害者年金については、施設における支援が中心であった昭和40年代に創設されたものであり、現在は障害者福祉の制度が、身体・知的・精神の3障害の方々を同じ制度のもとで支援する方向に転換されており、身体障害者1級の方のみに限定した本制度を3障害に拡充した場合の持続可能性を検証し、自立を効果的に支援する施策へ見直しが必要と判断した。

長寿祝金については、数え88歳の方へのお祝いは廃止し、高齢者の健康や生きがいづくりを支援する事業に財源を振り向け、数え99歳の方を対象とし、長寿を祝福したいと考えている。

教育行政について

問 教師の働き方、勤務時間について

答 各学校において、管理職により個々の教職員の健康状態や業務分担の偏りに留意しながら、勤務状況の把握に努めているが、教職員の職務は授業ばかりではなく、教材研究、部活動、家庭訪問などその特殊性から教育委員会においても勤務時間の正確な把握はできていない。

しかし、道教委が、平成28年に全道的に実施した「教育職員の時間外勤務等に係る実態調査」の対象として抽出された本市の中学校においても長時間勤務状態にあることが確認された。

それを受けて、教育委員会では学校内の業務分担や組織体制の見直し、諸会議の削減などを実施するよう各校長に指示している。

道教委は年度内をめぐりに「学校における働き方改革アクションプラン」を策定することとしており、2月14日にそのプラン案が示された。

それによると道立学校において具体的な方法について検討の

上、勤務時間を客観的に把握し集計するシステムを可能な限り早期に構築する。また、学校においてはその集計結果を踏まえ、職員の健康に配慮するとともに一部の職員に業務が集中しないよう業務の平準化、効率化などの取り組みを進めるとしている。

今後、正式にプランが決定した際には、本市においてもそれに沿った対策を講じたいと考えている。



【その他の質問】

- ・ 国の経済政策への認識について
- ・ 市政運営方針について
- ・ 市民の安全・安心な暮らしを守り、強靱で美しいまちづくりについて
- ・ 子ども・子育て環境の充実と芸術文化・スポーツのまちづくりについて
- ・ 地域産業・経済が元気なまちづくりに関して
- ・ 市民とともに築く、自立したまちづくりについて



公明党
酒井 和子

持続可能な開発目標SDGs (エスディージーズ)について

問 持続可能な開発目標※SDGsについての認識を伺う。

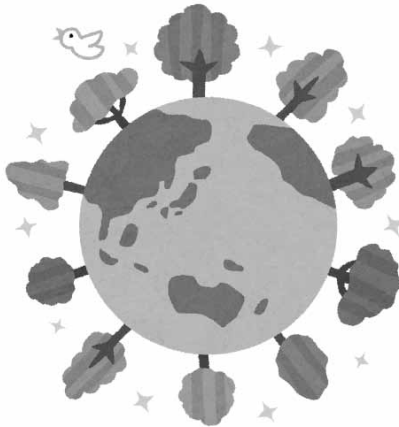
答 2015年9月の国連サミットで、先進国を含む国際社会全体の開発目標としてSDGsが採択され、2030年を期限とする包括的な17の目標、169のターゲット、230の指標が設定されていることは承知している。

SDGsには法的拘束力はないものの、国家レベルのみならず、自治体、企業、市民団体などさまざまなパートナーシップのもとでの取り組みが期待されており、自治体にとって最も関係の深い目標が、目標11「住み続けられるまちづくりを」であり、公共交通、環境や災害への対応などがターゲットとして設定されているほか、その他の目標も含め、広

範な分野にわたって地方の持続的な開発、地方創生の実現に資するものとされている。

当市においては、これまで総合計画や総合戦略など、市民生活の質の向上と「まち」の好循環の維持・拡大に向けた施策を展開しており、本年度、新たに策定する総合計画も未来を見据えた持続可能なまちづくりの実現に向け、市民の皆様や多様な主体との共創・協働、オール岩見沢の体制で推進していくさまざまな分野にわたる基本的指針であり、SDGsのコンセプトと相通じているものと認識している。

※SDGs
持続可能な開発目標の略称



市民とともに築く、自立したまちづくりについて

問 「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向けて、地方自治体が果たす役割への期待は大きく、市政運営の基本にSDGsを位置づけ、全庁的にSDGsの推進に取り組むべきでは

答 SDGsの特徴の一つは、現在の延長線上で未来を考えるフォアキャストینگではなく、目標を設定した上で現在とのギャップを受けとめ、その課題解決を目指すバックキャストイング型の取り組みであるとされている。

当市においては、地方創生のメインエンジンである総合戦略を初め、本年度、新たに策定する総合計画も現状をしっかりと見詰め、あるべき姿を描き、各種指標や※KPIを定め、※PDCAサイクルにより推進していくフューチャー・プルの発想、バックキャストイング型の考え方を取り入れており、今後10年間のまちづくりのグランドデザインを示す、新しい総合計画に掲げる将来の都市像の実現に向け、市役所のレベルアップはもとより、市民の皆

様や多様な主体とのパートナーシップのもと、市政のステツプアップに取り組んでいくことが、SDGsにもつながっていくものと考えている。

※KPI
目標の達成度合いをはかる指標

※PDCAサイクル

Plan(計画)↓Do(実行)↓Check(評価)↓Act(改善)の4段階を繰り返すことにより業務を継続的に改善すること



【その他の質問】

・市民の安全・安心な暮らしを守り、強靱で美しいまちづくりについて

・市民が健康で幸福を実感できるまちづくりについて

・子ども・子育て環境の充実と芸術文化・スポーツのまちづくりについて

・地域産業・経済が元気なまちづくりについて
・教育行政について

農業委員会の取り組みについて



日本共産党議員団
上田 久司

問 今年度の農地の権利移動の状況について

答 2月末現在、所有権移転は182件で831・8ヘクタール、使用収益権は169件で1107・7ヘクタールの権利設定及び農地法の許可を行っており、昨年同時期と比較すると、所有権移転は15件の増で面積は114・6ヘクタールの増、使用収益権は28件の減で、面積は216・6ヘクタールの増となっている。

問 農地の権利移動に係る今後の見通しについて

答 今後は、小規模ながらもビニールハウス等で高収益野菜などを栽培する農家、水稲・麦・大豆などを従来型で規模を拡大しながら展開していく農家等、現状維持と規模拡大のすみ分けが進むと推察している。

問 これまでの農地の権利移動の推移について

答 ここ5年間の平均について、所有権移転は年間平均227件、面積は818・7ヘクタール、1件当たりの面積は3・6ヘクタールで使用収益権については、年間平均242件、面積は1237・3ヘクタール、1件当たりの面積は5・1ヘクタールの平均値となっており、過去10年間までさかのぼって平均値をとっても、ほぼ同数で推移している。

近年ではAIやICTを駆使した農業機械も開発されており、近い将来、本格的に普及されると予想され、規模拡大にも対応できると考えている。

【その他の質問】



・憲法9条を含む「改憲」の動きについて
・雇用の無期転換ルール等について
・バス路線等について

・議案第14号・岩見沢市立高等看護学院条例の一部改正について
の大綱質疑

平成30年度各会計予算 総額925億2,200万円を可決

一般会計及び特別会計国民健康保険費、病院事業など12会計の30年度予算案を含む30議案の審査のため、予算審査特別委員会を設置し、5日間にわたり審査を行いました。その結果、全ての議案について可決すべきものとされ、本会議において一般会計497億円、特別会計204億5,000万円、企業会計223億7,200万円、総額925億2,200万円の平成30年度予算が原案のとおり可決されました。

予算審査特別委員会での主な質疑(項目のみ)

◆福祉独自施策の見直し◆地域コミュニティ活性化事業◆シティプロモーション推進事業◆防災対策事業◆男女共同参画社会推進事業◆町会等管理街路灯維持支援事業◆生活交通確保対策事業◆市税賦課徴収事業◆ITビジネス促進事業◆地域おこし推進事業◆留守家庭児童対策事業◆郷土科学館管理事業◆小・中学校就学援助事業◆子ども子育て支援事業◆特別支援教育振興事業◆オリンピック・パラリンピック推進事業◆学力向上対策事業◆子育て総合支援センター事業◆ファミリー・サポート・センター事業◆放課後児童クラブ運営◆診療報酬改定の影響◆新市立総合病院建設事業◆地域福祉計画の進捗◆障害者文化芸術活動支援事業◆福祉医療助成費◆不妊・不育症治療費助成事業◆健康寿命延伸事業◆診療所運営事業◆地域除排雪支援◆高齢者の生きがいと健康づくり推進事業◆ごみ減量化推進事業◆環境対策事業◆火葬場管理運営事業◆新規就農・農業後継者育成支援事業◆ICT農業普及促進事業◆鳥獣対策事業◆畜産振興事業◆合併処理浄化槽設置補助金◆観光振興戦略推進事業◆ポルタビル利用促進事業◆中心市街地活性化対策事業◆春先の道路の補修◆駅前通整備促進事業◆ローズパークのコース整備◆水道料金の金額の推移◆地方交付税の減◆財政調整基金繰入金◆保育所費



新庁舎整備に関する要望書を市長に提出



3月16日に開催の新庁舎建設特別委員会で決定された「新庁舎整備に関する要望書」を当委員会谷口洋一委員長が松野哲市長に提出をいたしました。

※要望書の全文は、市議会ホームページに掲載しております。

議会を傍聴してみませんか

本会議と委員会は、どなたでも傍聴することができます。
会議当日に傍聴席入口にて、受付票に住所・氏名等をご記入いただければ傍聴することができます。
ぜひ傍聴にお越しください。

※団体で傍聴される方は、席の確保の都合上、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。
議会事務局 TEL 23-4111（内線 462・463）



ホームページ

議員名簿、議会の概要、本会議・委員会開催のお知らせ、意見交換会、過去の会議の結果（会議録）等を掲載しています。

岩見沢市議会



議会中継

本会議の様を生中継・録画中継しています。視聴に当たっては、ホームページの「市議会インターネット中継」にアクセスしてください。

第2回定例会は 6月に開催します！

開会日は、公共施設などに事前に掲示されるポスターや市議会ホームページにて開会日の1週間前にお知らせいたします。

市民との意見交換会を開催します！

日時：5月15日(火) 午後6時

<会場>

- ・日の出コミュニティセンター(日の出3丁目6-17)
- ・南コミュニティセンター(南町80-3)
- ・緑が丘連合会館(緑が丘1丁目94-2)
- ・北盛会館(北本町西1丁目1-6)

※事前の申し込みは不要です。
※どの会場でも自由にご参加いただけます。
お気軽にお越しください!!



市民生活において課題となっているもの、改善すべき点などについて、市民と議会との意見交換を行い、市政に反映することを目的として開催します。

<意見交換会当日の流れ>

1. 各常任委員会から話題提供
2. 話題提供に基づいた意見交換
3. 自由な意見交換

※開催時間は90分程度を予定しております。

次回は11月に以下の会場で開催予定です!
生涯学習センターいわなび／北村環境改善センター／
栗沢文化センター／幌向総合コミュニティセンターほっ
とかん

平成30年第1回臨時会

(2月20日/会期1日)

除排雪事業、小学校就学援助事業及び中学校就学援助事業に1億2千万円を追加。

また、債務負担行為について、市庁舎建設事業を追加。

<全会一致可決>

議案第1号・平成29年度岩見沢市一般会計補正予算について(第5号)

編集後記

広報広聴委員会委員 伊澤幸信



新しい年度を迎えて、北国にも草花や樹木の芽が膨らみ始め、心が弾む季節となりました。
岩見沢市においても、10年後を見据えての新総合計画の策定や新庁舎の基本設計・実施設計など、市民の寄せる期待は大きいものと思われます。
議会としては、市民のご意見に真摯に対応するために、市民との意見交換会を開催しております。
政治は市民のためのものですので、是非ともご理解賜りますようお願い申し上げます。

- [委員長] 酒井和子 [副委員長] 檜館竜哉
[委員] 伊澤幸信 太田博之 豊岡義博 大和 勝 山田靖廣 池島和行

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。

